

授業アドバイスシート

【中学校英語①】

適切な表現を用いて、正しく伝える力を高めよう

実態

- 設問10「学校を表す2つのピクトグラム（案内用図記号）の案を比較して、どちらがよいか理由とともに意見を書く」の平均正答率は2.0%であり、全国を上回ったものの大変低かったです。

基本的な語や文法事項の知識が身に付いていないため、書きたいことを正しく書き表すことに課題が見られました。



対策

- ① 言語活動を通して継続的に指導していきましょう。和文に対応した穴埋めや語順整序だけではなく、即興のやり取りをはじめとして、発信の言語活動を充実させましょう。
- ② 英語による簡単なやり取りを繰り返し行い、対話の内容を英文で書き起こす等の活動を通して、英語の語や文法事項等を正しく理解する活動を充実させましょう。

<対策のポイント>

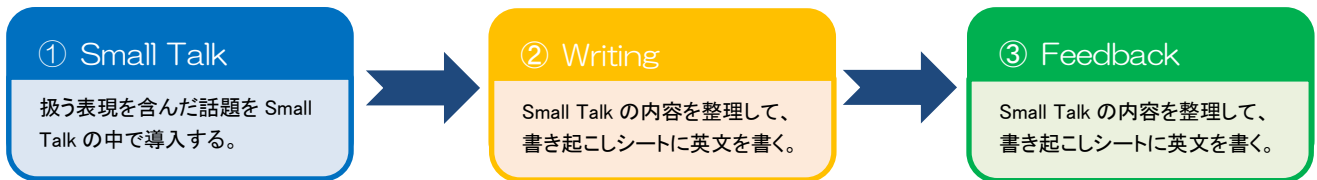
- 自分の考えや理由を相手に分かりやすく伝えるため、文法事項等を言語活動の中で理解し定着させましょう。
- 日々の授業の中で、即興のやり取りを意識的に取り入れ、既習表現に繰り返し触れさせながら、英語を正しく話したり、書いたりする力を定着させる活動を積み重ねていきましょう。

取組例

Small Talk の内容を書いて、整理しよう（帯活動）

身近な話題についての英語でのやり取りを通して、正しく語や文法事項等を活用できる力を養う学習活動です。① Small Talk ② Writing ③ Feedback の3つの流れで進めます。

【言語活動を通して、コミュニケーションを図る資質・能力を育成する学習の流れ】



① Small Talk

- (1) 教師と ALT（生徒）、生徒同士による Small Talk を聞き、メモを取りながら、話の内容を把握する。
- (2) Small Talk を聞いた後、話の内容とともにどんな表現が使われていたかを確認する。



What subject do you like, Yasu?

I like music.
I play the piano for two hours every day.



Wow! Why do you practice the piano every day?

Because I want to be a music teacher.
So, I need to practice the piano every day.
But I'm not good at singing.
I want to be able to sing well, too.



I think that you can do it!

- この後の Writing の活動で使わせたい表現を用いて対話を行います。
- Small Talk の内容は、できるだけ生徒の身近な話題を取り上げるようにします。
- 扱う文法事項は、これまでの復習やその時の学習内容に関連したものを取り上げるようにします。

② Writing

- (1) Small Talk の内容を整理して、対話の内容を振り返り、対話の内容を英文で書き起こす。
- (2) 対話の内容を再現したり、使わせたい表現(キーワード)を用いて英文を作ったりするように指示する。
- (3) Small Talk で取ったメモをもとに英文を作る。

ヤスは、音楽の先生になりたいから、毎日ピアノの練習をしているんだね。



- because の使い方はこれでいいかな？
- 「～できるようになりたい」はどうやって書けばいいのかな？

(1) Small Talk メモ

ヤス 音楽好き。毎日ピアノを弾く。

将来、音楽の先生になりたい。

歌は苦手。歌も上手になりたい。

(2) Small Talk の内容を書き起こしてみよう

Yasu likes music.

He plays the piano every day because he wants to be a music teacher.

But he isn't good at singing.

He wants to sing well, too.

③ Feedback

- (1) ペアで自分の書いた英文をチェックし合う
- (2) 文法の間違いを自分で修正する
- (3) 表現の仕方が分からない表現や文構造について確認する

(2) Small Talk の内容を書き起こしてみよう

Yasu likes music.

He plays the piano every day because he wants to be a music teacher.

But he isn't good at singing.

He wants to sing well, too.

「理由や原因」を表現するときは because を使います。

Because の後は、

「主語+動詞…」がくるよ



to 不定詞の文で「～できる」を表すときは「be able to ...」を使います

※ 生徒が書いた英文は回収し、つまずきが見られる部分について指導をしていきましょう。また、生徒が「書きたかったけど、書けなかった」表現についても取り上げることで、生徒が使える表現を増やしていくことができるように心がけていきましょう。

授業アドバイスシート

【中学校英語②】

適切に応じるために、聞き取る力を高める活動を充実させよう

実態

- 設問4「留学生の音声メッセージを聞いて把握した内容について、適切に応じる」の平均正答率は6.5%（全国比-1.1ポイント）と低く、無解答率は43.9%でした。

メッセージの内容を聞き取ることができておらず、部活動についてのアドバイスを求められていることが理解できていない実態があります。



対策

- ① 日頃から生徒と英語でやり取りする中で、実際に聞いてたずねられたこと等に応じる活動を積み重ねましょう。
- ② 場面設定を工夫しながら、内容を踏まえて自分の考えを表現させる活動を充実しましょう。

<対策のポイント>

- 調査結果から、日常的で簡単な事柄についての内容を聞き取る力は身に付いてきていると考えられます。一方、自然な口調で話される内容を聞き取ることに課題があることから、話し手が何を求めているかを理解する学習活動をくり返すことが必要です。
- 普段の授業を自然な英語の使用場面に近づけていくことが大切です。そして、聞いた後に何をしなければいけないか、目的をもって英語を聞くことを日常的に繰り返したり、適切に応じるために英語を聞き、内容を理解する活動を設定したりしましょう。

取組例 来日予定の留学生にアドバイスを書こう (帯活動)

目的・場面・状況に応じて、どのような内容を聞き取るとよいか考えながら聞き取る活動を通して、「質問や依頼などを聞いて適切に応じる」力を養う学習活動です。

【言語活動を通してコミュニケーションを図る資質・能力を育成する学習の流れ】



1. 目的を把握する



You'll have a new classmate from the U.S. His name is Nick.

Really? Please tell us about him more.



All right. He lives in California. Where is California? Yes, it's on the west coast of the United States. He is very interested in our country. Now, everyone. I have a message from him. He wants some advice from you. What does he want to know about? Let's listen and give him some advice.



- ・聞いた後に何をすべきか、明確にしてから聞かせる。
- ・この段階で、生徒とのやり取りを通してニックに関する情報（出身地、趣味など）を多く示せるとよい。ただし、メッセージにある情報と重ならないように注意する。

2. メッセージを聞く



どのようなアドバイスが欲しいのだろうか？



勉強のことかな？
食べ物のことかな？
部活のことかな？

どうしてアドバイスが欲しいのだろうか？



Hello. I'm Nick. I'm looking forward to meeting you. I'm going to stay in your country for two weeks. I hear that there are a lot of club activities in Japanese schools. I want to try some! Which club activities can I try? Can you give me some advice? I'm waiting for your answer. Thank you.



1回メッセージを聞き、情報を把握するよう促す。

3. 情報を整理する



What does he want to know about? Now talk about it in pairs.

(1) ペアやグループで聞き取り内容を確認する

生徒の実態に応じて、日本語で行ってもよい。



I don't know.



I think he wants to know about Japanese food.



About Japan.

No, about our school.



He wants to know about club activities.

Yes, I think so, too. He wants to try some club activities in Japan.

(2) もう一度聞き取りを行う



Listen to his message once again and check your understanding.



- ・1度目の聞き取りの後、「ニックはどのようなことを求めているか」について、ペアやグループで短い時間話し合わせる。その際、主な意見を板書で全体に提示し、考えを深めさせてもよい。
- ・2度目の聞き取りでは、生徒同士で話し合ったことが本当に正しかったかどうかを確認させる。なお、生徒の実態に応じて、英文を途中で区切ったり、ヒントを与えたりしながら聞かせてもよい。

4. アドバイスを書く

「3. 情報を整理する」で確認した内容を基に、既習事項を活用してアドバイスを書く

〈アドバイス例〉 *How about playing volleyball?*



より良いアドバイスにするために、ペアやグループで英語を確認することも有効である。また、生徒の間違いを修正するばかりでなく、教師や外国語指導助手（ALT）から実際にアドバイスについてのコメントをもらうことで、生徒は英語を使ったコミュニケーションに喜びを感じ、学習意欲の向上にもつながる。

5. 活用する

「聞くこと」と「書くこと」の統合的な活動をメインとした単元では、学んだことを「活用する」活動を設定しましょう。

学んだことを生かして、別のメッセージを聞き、アドバイスを書く

（問題）今、あなたは2泊3日のイングリッシュキャンプ（英語合宿）に参加しています。今日の予定について英語で放送が流れてきました。ルームメイトのサトシが部屋に不在のため、彼のために英語でメッセージを残すことになりました。放送の内容をよく聞き、サトシへのメッセージを英語で書きましょう。

Good morning. Are you enjoying this year's English camp? I hope you made many friends. I'm sure the camp will be a wonderful experience for you. Today is the last day. We're going to have the goodbye lunch from eleven a.m. to one p.m. But it is raining, so we cannot use the garden. We will eat in Room One, not in the garden. OK? Let's enjoy our last day at English camp.

参考：令和元年度授業アイデア例（国立教育政策研究所教育課程研究センター）

教科書の内容を生かした場面例：

- ・ NEW HORIZON1 p55 「マルコの自己紹介を聞いて、質問をメールで送ろう。」
- ・ NEW HORIZON1 p103 「電車のトラブルが発生。待ち合わせをしている咲にメールで知らせよう。」
- ・ NEW HORIZON2 p62 「あなたは咲と出かける予定です。天気予報を聞いて、行先や持ち物等についてメールを送ろう。」

既習の教材を使用することで、聞くことが苦手な生徒も学習した内容を思い出しながら概要を理解することができ、自分の考えを表現する活動に取り組むことができます。

授業アドバイスシート

【中学校英語③】

英文で、書き手の一番伝えたいことを読み取る力を高めよう

実態

- 設問7「まとまりのある文章を読んで、説明文の大切な部分を理解し、書き手が最も伝えたい内容を選択する」の平均正答率は31.4%（全国比-1.4ポイント）と低かったです。

英文全体を読んだ上で、手掛かりの文を基に、書き手が最も伝えたいことを判断することができていない実態があります。



対策

- 教科書の題材を用いた、以下のような手順で、書き手が最も伝えたいことを判断する活動に取り組みましょう。
 - 1 全体のおおまかな内容を捉ええる。
 - 2 各段階の最も大切な内容を表す英文を選ぶ。
 - 3 それらを比較するなどして、文章の最も大切な部分について意見交換する。

<対策のポイント>

- 一文ずつ解説しながら全体の理解につなげるのではなく、文章全体を読んで、大切な部分をとらえさせる読み方と指導の工夫をしましょう。
- 設問6「まとまりのある文章を読んで、話の流れとして最も適切なものを選択する」の平均正答率は62.4%であり、話のあらすじを読み取る力は比較的身に付いていると捉えられます。
- 設問7の選択肢は全て本文中に述べられている情報です。そのため、文中の“How smart are chimpanzees(they)?”という手がかりを基に書き手が最も伝えたいことを自分で考えて選ぶことに課題があると考えられます。
- 説明文などの大切な部分をとらえる際には、文章全体を通して読み、複数の情報の中から、書き手が最も伝えたいことは何であるかを判断することが大切です。教科書の題材を「読む活動」では、文章全体を漫然と読ませるのではなく、最も大切な語句や文を選ばせたり、各段落の働きを理解させたりしましょう。

【取組例】 「Read and Think」を読んで、大切な部分を選ぼう（2・3年）

まとまりのある文章を読んで、大切だと思う文を選ぶ活動を通して、「書き手の一番伝えたいことを読み取る」力を養う学習活動です。

○ 教科書「NEW HORIZON」の「Read and Think」の指導にあたって

教科書「NEW HORIZON」には、まとまりのある本文の読みを通じて思考力・判断力の育成を目指した「Read and Think」のページが2年生から設定されています。この「Read and Think」の指導にあたっては、次のことを意識していきましょう。

目的をもって、活動に取り組みませよう。

「必要な情報を読み取る」「大まかな内容を把握する」「書き手が伝えたいことを把握する」などの読む目的を事前に生徒に示しましょう。（「Starting Out」「Dialog」でも同じです。）

【活動例】

- 絵やグラフなどの資料を含む英文から必要な情報を読み取る。
- 広告やメニュー、メールなどの英文から必要な情報を読み取る。
- 段落ごとにタイトルを付ける。
- 話の内容を数文の英語でまとめる。

生徒が自分の力で読む取る場を増やそう。

教師の口頭導入等で大まかな内容を理解してからではなく、生徒が独力で読み取る活動にしましょう。生徒の実態に応じて口頭導入等が必要な場合は、最小限の内容にしましょう。

読みづらい部分も推測しながら読むことを生徒に意識させよう。

一文ずつ解説しながら全体の理解につなげるのではなく、読みやすい部分を手掛かりにしながら、読みづらい部分についても推測しながら読み進めていくよう生徒に意識させましょう。

生徒が独力で読み取る活動に取り組みさせた上で、読みづらい部分を取り出して、文の構造や文法事項を確認することで、基礎基本の定着につなげます。

読んだ内容について、自分の考えを述べる場を設定しよう。

内容を理解するだけでなく、内容について感想や意見、疑問などを述べる場を設定することで、統合的な言語活動になります。生徒の実態に応じて、最初は日本語で行ってもよいでしょう。

一番大切だと思う英文を選びましょう。



大切なことはどこに書いてあるかな？



まずは、自分で最後まで読むぞ！



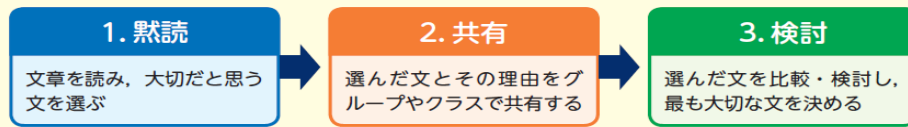
この単語の意味が分からない。どうしよう…。でも、他の英文に大切なことが書いてあるかな？



大切な英文は○○かな。僕も、筆者と同じ考えだな。みんなはどうかな？



【言語活動を通してコミュニケーションを図る資質・能力を育成する学習の流れ】



「Read and Think」を例とした活動です。語句の確認や新出表現の導入・練習後に行います。2年生では「1. 黙読」「2.共有」に取り組み、生徒が自分の力で推測しながら読み取る活動を意識しましょう。3年生では、内容や単元の学習活動に合わせて、「3 検討」の活動も取り入れましょう。

【学習の流れ】

1. 黙読

(1) おおまかな内容をとらえるための読み
「どのようなことが書かれているか」をつかむ

(2) 大切なところをとらえるための読み
「書き手が一番伝えたいことは何か」をつかむ
最も大事だと思う文に印を付ける

Read the sentences to understand the outline.

Read the sentences again. What is the most important sentence in this article? What do you think? Underline one sentence.

ポイント

- ・目的を明確にした2種類の読み方をさせる。
- ・教師が誘導しないで各自の判断で最も大切な部分を選ばせたい。
- ・読みづらい部分も推測しながら読むことの大切さを生徒に意識させる。

2. 共有

(1) 共有 (グループ内)
グループ内で共有する
その際、選んだ理由も述べる

(2) 共有 (クラス全体)
各グループで述べられた理由をクラス全体に報告する
教師は文と理由を板書する

「読むこと」を言語活動のメインとした単元では、学んだことを「活用する」活動を設定しましょう。その際は、例のような「Read and Think」より長い文章にも取り組ませましょう。

例：NEW HORIZON 2 Challenge(p94・95、 p116)
NEW HORIZON 3 Challenge(p20、 p52、 p98)
令和元年度授業アイデア例(p17)

3. 検討

(1) 検討 (グループ内)
出てきた文を比較し、重み付けを行い、一番大切な文を選ぶ

(2) 検討 (クラス全体) |
各グループが述べた理由を、更にクラス全体で検討する

(3) 整理 (クラス全体)
教師からの説明・まとめを行う

4. 活用

同様の話題 (社会的な話題) に関する別の文章を読み、学んだことを生かして当該文書の大切な文を選ぶ

I think “○○○○” is the most important sentence because □□□□.



参考：令和元年度授業アイデア例（国立教育政策研究所教育課程研究センター）